

# SP療法(S-1+シスプラチン)

day7より約3, 4日入院する。  
1サイクル35日

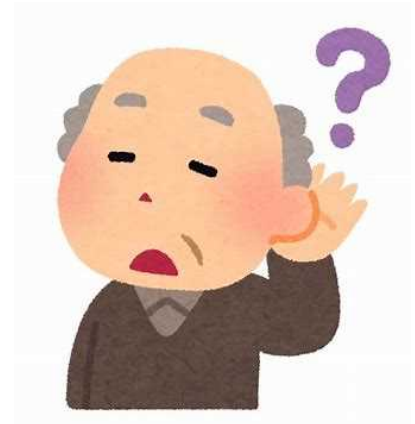
	day1	7	8	9	10	11	15	22	29	35
S-1 80mg/m <sup>2</sup> 1日2回経口内服 <b>21日内服14日休薬</b>	タより							朝まで		
補液(500mL)		4本	4本	3本	2本	1本				
アプレピタント®			125mg	80mg	80mg					
デカドロン®				8mg	8mg	8mg				
生理食塩液50mL+アロキシ®0.75mg +デキサート®9.9mg 15分			↓							
生理食塩液250mL + CDDP 60mg/m <sup>2</sup> 2時間以上点滴静注 day8のみ投与			↓							

CDDPの腎障害対策として  
ハイドレーションが必要。  
(day7より開始)  
※浮腫発現時は補液の調節や利尿剤使用にて対応

# 副作用

S-1副作用の骨髄抑制、食欲不振、下痢、口内炎、発疹、色素沈着、流涙、倦怠感に加え、末梢神経障害、難聴、吃逆、腎機能障害あり。食欲不振→悪心・嘔吐に増強。

- ・吐き気はhigh risk薬剤にて3剤併用(当院の制吐対策参照)。  
※糖尿病や吃逆発現の患者に対してはデカドロン®をなしとすることも多い。
- ・回数を重ねるごとに末梢神経障害の悪化や、難聴発現のリスクを高まるため注意。



# SP療法(S-1+シスプラチン+トラスツズマブ)

	day1	7	8	9	10	11	15	21
S-1 80mg/m <sup>2</sup> 1日2回経口内服 <b>14日内服7日休薬</b>	タより						朝まで	
補液(500mL)		4本	4本	3本	2本	1本		
アプレピタント®			125mg	80mg	80mg			
デカドロン®				8mg	8mg	8mg		
生理食塩液50mL+アロキシ®0.75mg +デキサート®9.9mg 15分			↓					
生理食塩液250mL + HER 初回8mg/kg→2回目～6mg/kg 初回90分、2回目以降60分かけて点滴静注			↓					
生理食塩液250mL + CDDP 60mg/m <sup>2</sup> 2時間以上点滴静注 day8のみ投与			↓					

HERが3週毎投与となるため、  
**1サイクル21日**となる。  
→S-1の投与期間は14日間

HER2陽性の場合、HER追加

## HERの副作用・注意点

- ・infusion reaction(発熱、悪寒、頭痛)
  - アナフィラキシーと違い、3回目くらいで消失することが多い。
- ・心毒性(むくみ、動悸、息切れ等)
  - 投与前、投与中に心エコー施行にて評価行っている。

※HER2検査にて陽性となった患者のみ投与

